

令和7年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	3	履修学年・クラス	3年ABC
担当者		使用教材	東京書籍「国語表現」				
学習目標	・文章作法を理解し、伝えるべき相手を認識して、積極的に文章を書けるようになる。						
	・会話を前提に「聞く」「話す」能力を身につけ、書字を用いないコミュニケーション能力を身につける。						
	・古来からの日常的な慣用表現を身につける。						
	・氾濫する情報を吟味し、自分なりの観点で正誤を認識し、他者に伝達できるようになる。						
学習方法	・各期ごとの課題だ区分に取り組み、その添削を通じて語彙を増やす。						
	・話し手の立場に立って聞き、相手に応じて言葉を使い分けられるようにする。						
	・自らの表現を吟味し、端的な言葉で言い換えられるようにする。						
	・情報を整理・分類し、既存知識を基に客観的な判断をする。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点的趣旨				
	知	知識・技能(技術)	既習事項の活用と学習内容の積み重ね				
	思	思考・判断・表現	提示文章の論理的な分析と表現の言い換え				
	態	主体的に取り組む態度	学習内容の吸収と表現に対する積極性				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点 知 思 態			単元(題材)の評価規準	評価方法
前期 中間	漢字練習	漢字部首の意味理解	○		○	- 漢字の成り立ちと訓読みに対する理解 - 自己発見 - 分類、同内容の説明まとめ - 記憶に頼らない理解 - 相手の立場を考慮した言い回し - テーマに忠実な文章表現	定期考査 演習問題 提出物
	4 「自分」を表現しよう	- 長所探しと理解 - 業種や職種に活かせる自己の長所 - 志望校で力を発揮できる長所 - 自己の長所の文章化			○		
	1 分かりやすく説明しよう	- 情報の群化(グループ化) - 説明文の要約 - 説明すべき情報の取捨選択	○		○		
	慣用表現	- 気の利いた言い回しの理解 - 自己の表現への活用	○		○		
	聞く・話す	問題演習		○	○		
前期 末	課題作文	「書き慣れ」と指定字数のクリア	○	○	○	- 好ましい挙措の理解 - 課題に応じた書き方の理解 - 記憶に頼らない理解 - 相手の立場を考慮した言い回し - テーマに忠実な文章表現 - 理解しようとする姿勢	定期考査 演習問題 提出物
	4 「自分」を表現しよう	面接の作法と形式の理解			○		
	5 論理的な文章を書こう	小論文の形式理解	○	○	○		
	慣用表現	- 気の利いた言い回しの理解 - 自己の表現への活用	○		○		
	聞く・話す	問題演習		○	○		
	課題作文	「書き慣れ」と指定字数のクリア - 内容の論理性と表現力		○	○		
後期 中間	3 「問い」を考えよう	- 電話のかけ方、メールの書き方 - 手紙の書き方→内定通知礼状	○	○	○	- 一般マナーの理解 - 情報の取捨選択 - 報告の目的理解 - 記憶に頼らない理解 - 相手の立場を考慮した言い回し - テーマに忠実な文章表現	定期考査 演習問題 提出物
	7 情報活用力を身につけよう	- 広報資料づくり - 報告書の書き方			○		
	慣用表現	- 気の利いた言い回しの理解 - 自己の表現への活用	○		○		
	聞く・話す	問題演習		○	○		
	課題作文	「書き慣れ」と指定字数のクリア - 内容の論理性と表現力			○		
後期 末	6 話し合う力をつけよう	- 話し合いの原則と流れ - ディベートのルールと論の展開	○	○	○	- 率直な意見交換の方法とルールの理解 - 納得させるための論の展開把握 - わかりやすい発表方と手順の理解 - 記憶に頼らない理解 - 相手の立場を考慮した言い回し - テーマに忠実な文章表現	定期考査 演習問題 提出物
	8 説得力のある提案をしよう	- 提案の内容吟味 - 提案書の書き方 - 発表の仕方			○		
	慣用表現	- 気の利いた言い回しの理解 - 自己の表現への活用	○		○		
	聞く・話す	問題演習		○	○		
	課題作文	「書き慣れ」と指定字数のクリア - 内容の論理性と表現力			○		